

～ 令和元年東日本台風から四年 ～

阿武隈川における治水対策の状況

令和5年10月12日

国土交通省 福島河川国道事務所

福島県 土木部

目次

1. 阿武隈川における治水対策の状況【概要】P2
2. 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトP3~4
3. 主要事業(箇所)P5
【ハード対策】	
(国事業)①河道掘削(江持地区_須賀川市)P6
②樹木伐採(全川)P7
③遊水地群整備(鏡石町、矢吹町、玉川村)P8~10
④堤防整備・橋梁架替(須賀川市)P11~12
(県事業)⑤令和元年東日本台風災害復旧事業の完了P13
⑥令和元年東日本台風改良復旧事業の推進P14
⑦塩野川堤防嵩上げ(伊達市)P15
⑧濁川堤防嵩上げ(福島市)P16
⑨谷田川堤防強化(郡山市)P17
⑩逢瀬川堤防整備(郡山市)P18
【ソフト対策】	
⑪水位計、簡易型監視カメラの設置P19
4. 工事(業務)受注企業の総合力による治水対策の推進P20
5. 掘削残土が造り出す産業基盤(工業の森新白河の例)P21
6. (参考)流域治水プロジェクトの取り組みP22~23
7. (参考)阿武隈川流域における各取組についてP24~28

1. 阿武隈川における治水対策の状況【概要】

○令和元年東日本台風では阿武隈川流域において、既往最大の洪水により堤防が決壊するなど各地で甚大な被害が発生したことから、国、県、沿川市町村により「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を策定し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

阿武隈川本川等の主要事業(国)

●河道掘削事業(全川)

全体計画約220万 m^3 のうち、これまで約160万 m^3 (約7割)の掘削を完了。
(9月末時点)。今年度末までに約170万 m^3 (約8割)の掘削を目指す。

●遊水地整備(鏡石町、矢吹町、玉川村)

沿川3町村の地権者の皆様のご協力を得て、用地協議、代替地整備、埋蔵文化財調査等を実施中。

●橋梁架替(須賀川市)

雲水峯大橋、小作田橋の2橋について、堤防整備と橋梁架替を実施中。



阿武隈川支川の主要事業(県)

●塩野川(伊達市)、安達太良川(本宮)等については、流下能力の向上とバックウォーター対策のため、堤防嵩上げ、河道掘削等を実施中。



2. 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 令和元年東日本台風に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が多数発生するとともに、本川下流部では大規模な内水被害が発生するなど、**流域全体で甚大な浸水被害となった。**
- 今後、**関係機関が連携し、ハード整備・ソフト対策が一体となった流域全体における総合的な防災・減災対策**を行うことにより、**浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化**を目指す。

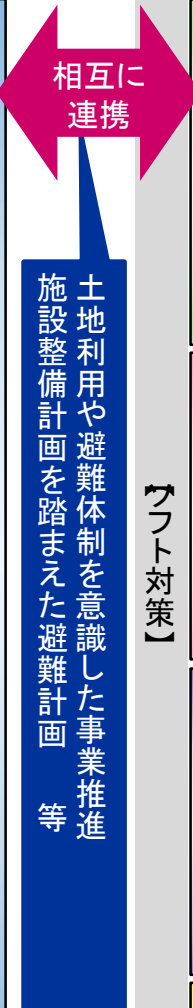
①河川における治水対策の推進

【ハード整備】約1,840億円

■観測史上最高水位を更新するほどの大規模な洪水により、本川・支川で越水・溢水、堤防決壊、内水氾濫等が多数発生

→本川の水位を低下させる対策、支川における堤防強化等の治水対策を推進

- ＜主なメニュー案＞
- ・国・県管理河川の堤防決壊箇所等、被災した河川管理施設の「災害復旧」の推進
 - ・現在 実施中の「堤防整備」等の早期完成
 - ・「河道掘削、樹木伐採」等の推進、「河川整備計画」に位置づけられている「河川の水位を低下させる対策」等の順次検討・着手
 - ・本川の背水影響が及ぶ支川等の「堤防強化」、「準用河川」の整備促進
 - ・内水が顕著な河川等における「排水機能の強化及び耐水化」
 - ・既存ダム洪水調節機能強化



②減災型都市計画の展開

■沿川都市の都市化の進展により低平地の新興住宅地等での浸水リスクが顕在化

→沿川地域における住まい方、まちづくりの工夫の推進

＜主なメニュー案＞

- ・浸水リスクを考慮した「立地適正化計画」の展開
- ・支川や内水を考慮した「複合的なハザードマップ」の作成
- ・「特定都市河川」制度に準じた流域対策(例:雨水貯留施設等)
- ・高頻度で浸水する区域の「災害危険区域」等の指定



③地区単位・町内会単位での防災体制の構築

■本川や支川の氾濫、内水など、地区毎に異なる氾濫形態が避難行動に影響

→的確な避難行動に資するきめ細かな情報提供等の推進

＜主なメニュー案＞

- ・支川や内水も考慮した「タイムライン」の整備・改良
- ・浸水想定区域における「町内会版タイムライン」の策定・普及、訓練の実施
- ・危機管理型水位計の活用による「地区ごとの避難体制」の構築
- ・県管理の水位周知河川及び国管理ダム下流等の「洪水浸水想定区域」の早期公表

ソフト対策

④バックウォーターも考慮した危機管理対策の推進

■本川上流部では、背水が支川の氾濫にも影響

→本川合流部周辺における支川の減災対策の推進

＜主なメニュー案＞

- ・本川の背水影響が及ぶ区間への「危機管理型水位計」及び「カメラ」の設置等
- ・本川の背水影響が及ぶ区間に設置した危機管理型水位計と連動した地区ごとの「避難計画」の策定



⑤市町村の実情に応じた減災の取り組み

→地域の特性等を踏まえた各種減災対策の推進

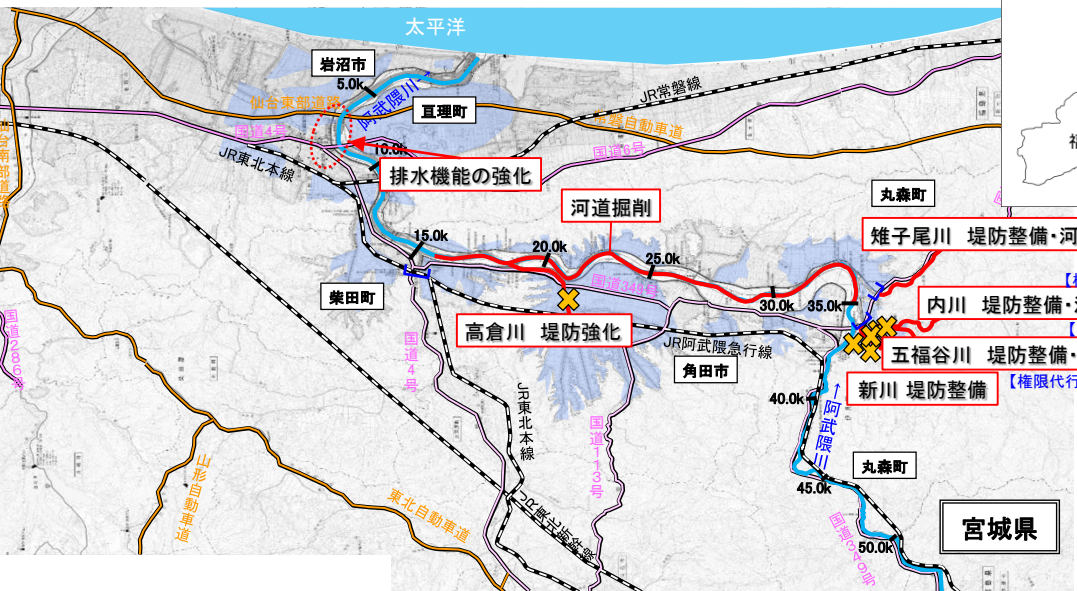
- ・流出抑制・氾濫抑制の取組、住民参加型の防災訓練、マスメディアと連携した情報発信 等

※具体的な対策内容等は、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

2. 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 全体事業費 約1,840億円
- 事業種別
- 改良復旧事業
 - 国:阿武隈川上流(福島県内)
 - 全体事業費 約999億円
 - 事業期間 令和元年度～令和10年度
 - 国:阿武隈川下流(宮城県内)
 - 全体事業費 約215億円
 - 事業期間 令和元年度～令和6年度
 - 福島県: 約66億円
 - 宮城県: 約18億円
- 災害復旧事業
 - 国:阿武隈川上流(福島県内)
 - 全体事業費 約130億円
 - 事業期間 令和元年度～令和2年度
 - 国:阿武隈川下流(宮城県内)
 - 全体事業費 約99億円
 - 事業期間 令和元年度～令和2年度
 - 福島県: 約268億円
 - 宮城県: 約44億円



※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

3. 緊急治水対策プロジェクト 主要事業箇所



⑦塩野川 堤防嵩上げ(県)
(伊達市)
塩野川橋の橋梁工事を実施中

福島地区河道掘削(国)
(福島市)
荒川合流点下流右岸で河道掘削を実施

④堤防整備・橋梁架替(国)
(須賀川市)
雲水峯大橋、小作田橋の架替を実施

③遊水地整備(国)
(鏡石町、矢吹町、玉川村)
用地調査、用地協議、埋蔵文化財調査等を実施中

⑨谷田川 堤防強化(県)
(郡山市)
事業区間全体の河道掘削等が完了し、護岸を実施

⑧濁川 堤防嵩上げ(県)
(福島市)
堤防の嵩上げや橋の架け替えなどを実施
140mの堤防嵩上げが完了

郡山地区河道掘削(国)
(郡山市)
富久山橋上下流左右岸で河道掘削を実施
金山橋周辺左右岸で河道掘削を実施

⑩逢瀬川 堤防強化(県)
(郡山市)
逢瀬橋から咲田橋までの築堤、河道掘削、護岸が概ね完了

①江持地区河道掘削(国)
<須賀川市>
釈迦堂川合流点下流右岸で河道掘削を実施

伊達地区河道掘削(国)
(伊達市)
滝川合流点中州で河道掘削を実施

⑤令和元年東日本台風災害復旧事業(県)
<全県>
令和5年5月末までに河川災1,411箇所の災害復旧工事が完了

⑥令和元年東日本台風改良復旧事業の推進(県)
<全県>
令和元年東日本台風による浸水被害を受けた河川において、流下能力を向上させ早期の浸水被害の軽減を図るため、堤防嵩上げ、河道掘削等を実施

⑪危機管理型水位計等の設置(県)
<全県>
水位計446箇所、簡易カメラ245箇所の情報を提供中
<阿武隈川>
水位計244箇所、簡易カメラ115箇所

②樹木伐採(国)
<全川>
約33万m²の樹木伐採を実施。

■ 国事業
■ 県事業

① 河道掘削（例：江持地区_須賀川市）（国事業）

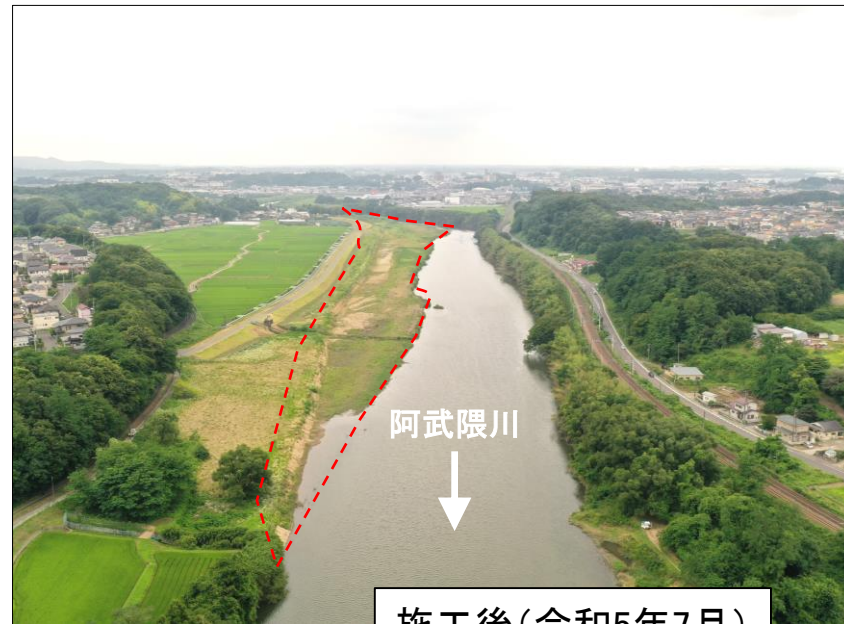
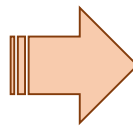


○ 釈迦堂川合流点下流右岸側江持地区において河道掘削を実施。



施工前(令和2年12月)

(工事状況)



施工後(令和5年7月)



(令和3年12月)



(令和4年4月)



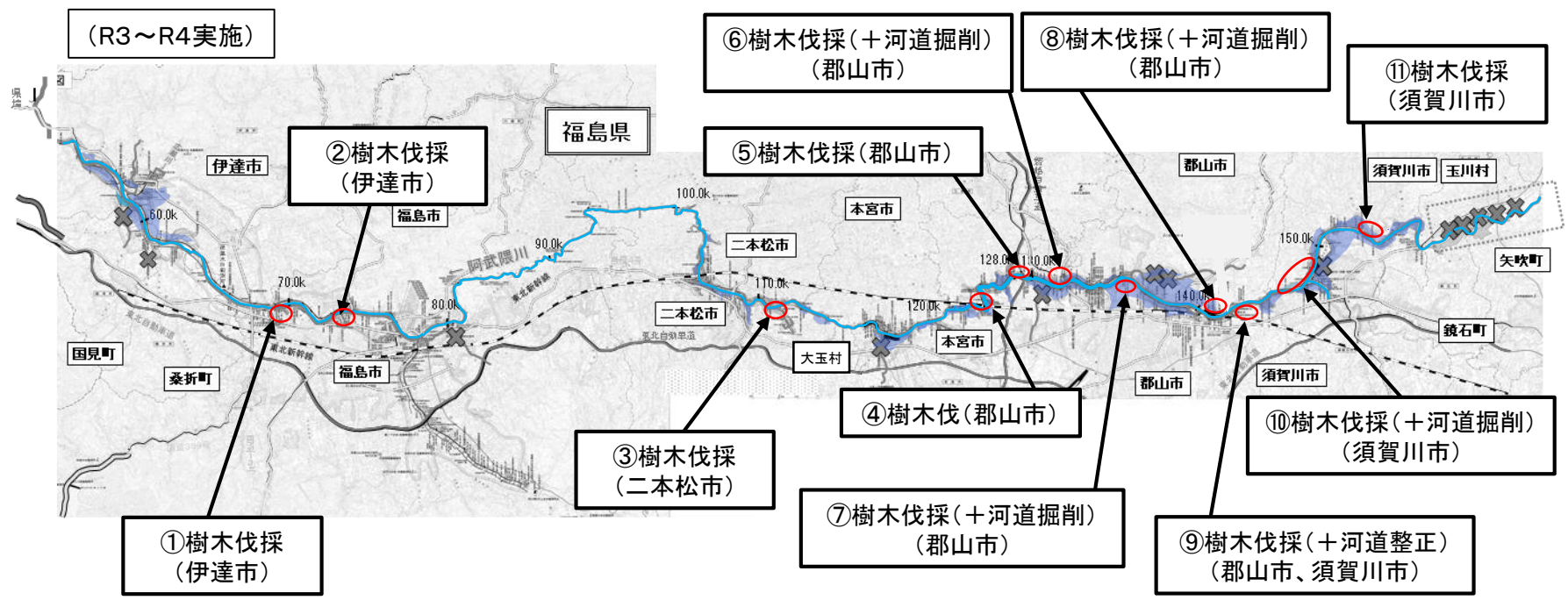
(令和4年7月)

河道掘削の施工状況

② 樹木伐採 (国事業)



○ 流下能力の向上・河川監視カメラの視認性向上などを目的とし樹木伐採(約33万m²)を実施。



樹木伐採前(④日向地区)



樹木伐採後(④日向地区)

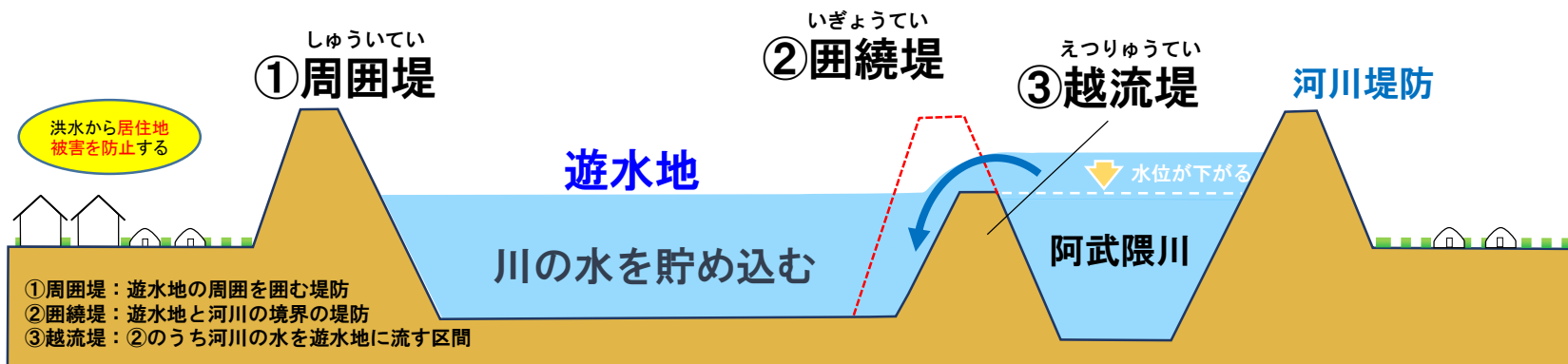
樹木伐採前(⑥小泉地区)

樹木伐採後(⑥小泉地区)

③ 遊水地群整備 遊水地の役割（国事業）

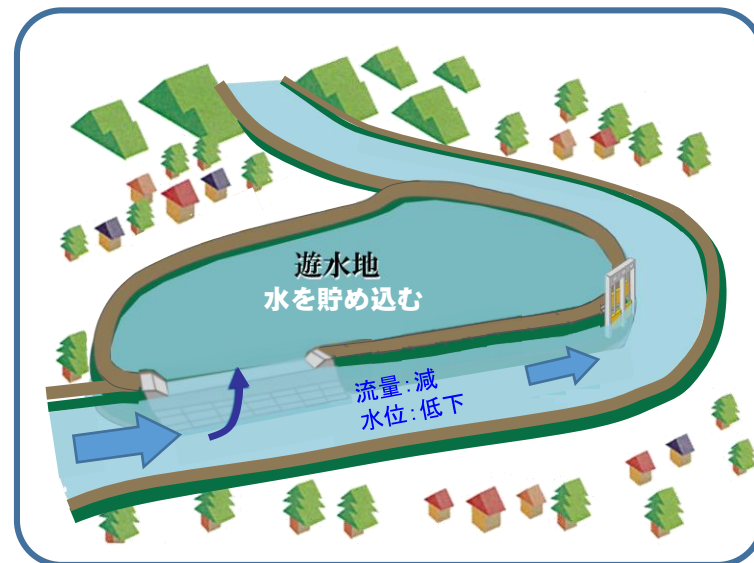


○遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、地先と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減。



【平常時のイメージ】

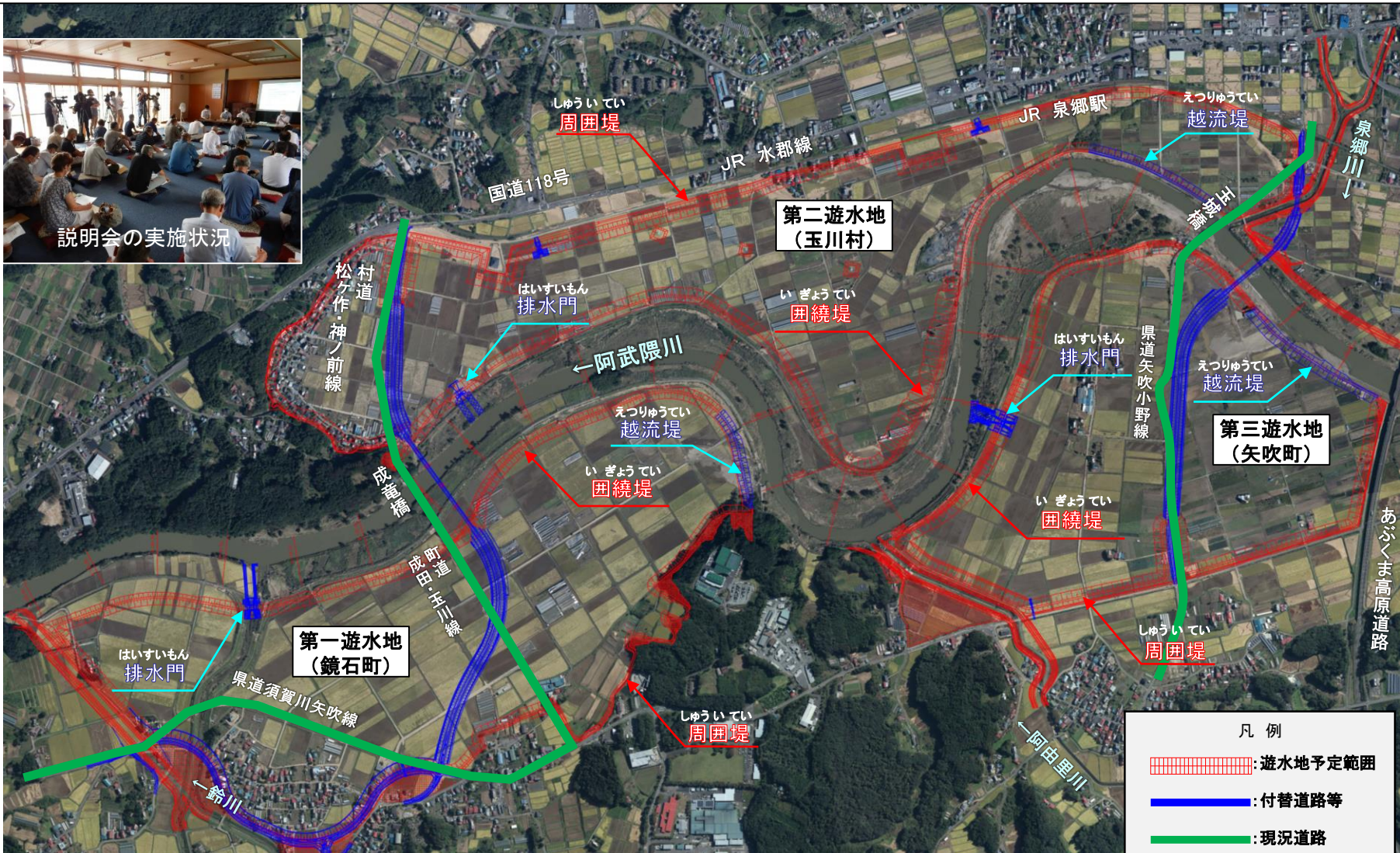
【洪水時のイメージ】



③ 遊水地群整備（鏡石町、矢吹町、玉川村）（国事業）



- 3つの遊水地整備を実施。（全体面積約350ha、洪水調節容量1,500～2,000万m³程度）
- 令和2年度からこれまで6回の事業説明会を開催。（参加者：延べ約2,000人）
- 流域の浸水被害軽減に向け、この遊水地では、地権者の皆様から貴重な土地を提供いただいた上で地盤を掘り下げ容量を確保。
- そのため、家屋移転・土地の提供等をいただく皆様を含め、地域の方々のご理解・ご協力により、令和4年10月から用地協議に着手。
- 令和10年度の完成を目指し、地権者の皆様と用地協議中。





③遊水地群整備 令和5～7年度の主な実施項目（国事業）

○用地協議、代替地整備、各種調査等を以下の工程で実施予定。

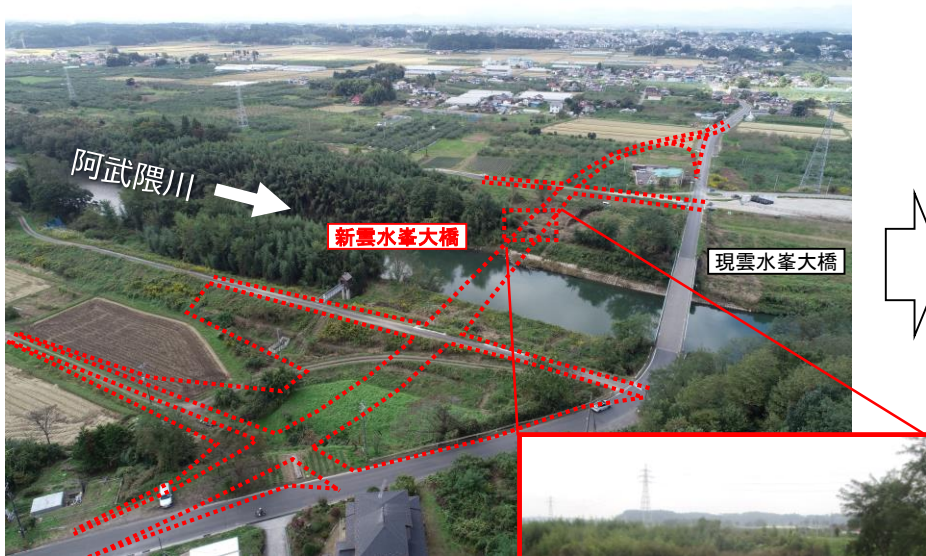
主な実施項目	年度	令和5年度												令和6年度												令和7年度												摘要
	月	04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03	
事業計画の説明等		[斜線]											説明会	随時																								
用地関係	主に農地	令和4年10月より用地協議開始																																				
	主に宅地	[斜線]						令和5年7月より用地協議開始																								[斜線]						
地下水位観測		必要に応じ調査を継続																																				
環境調査		必要に応じ調査を継続																																				
埋蔵文化財調査		試掘調査：令和5年3月から矢吹町（第3遊水地）で一部開始																																				本調査： 用地協議の進捗に応じて本調査実施
代替地(宅地)		基本設計			代替地(案提示)			意向調査(第2回)			実施設計						用地協議						代替地造成・インフラ整備															
		用地協議が完了し、施工が可能となった箇所から順次着手																																				
土地の利活用		[斜線]											検討会	検討会 年2回程度実施予定																								

注) 上記プロジェクト工程については、今後の調査状況等により変更する可能性があります。

④ 橋梁架替（雲水峯地区_須賀川市）（国事業）



○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。



工事前（2020年10月）



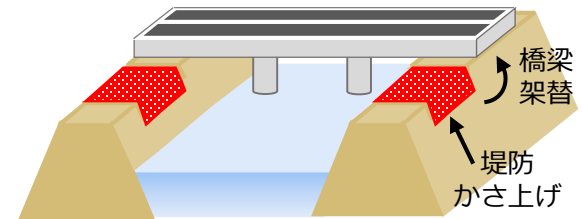
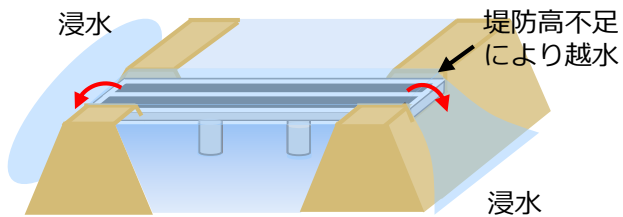
工事前（2020年10月）



工事中（2023年7月）



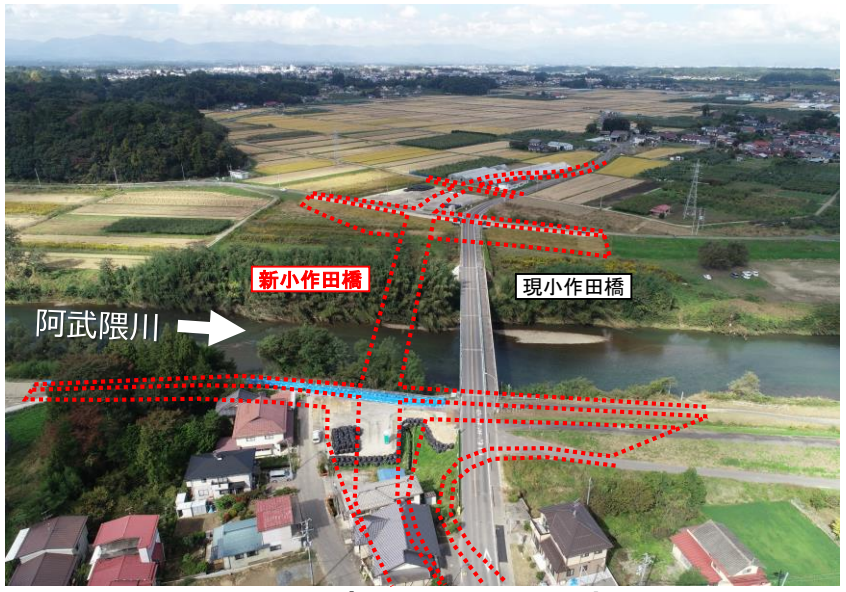
工事後（2023年7月）



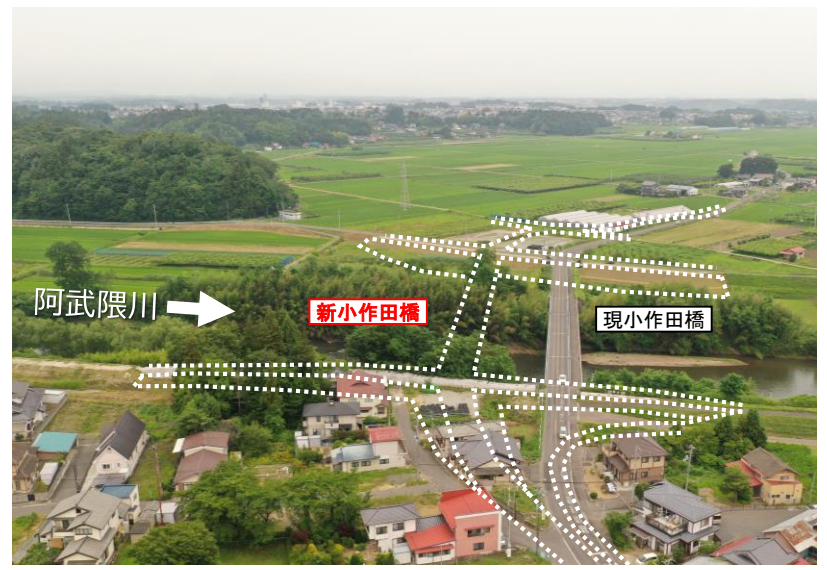
④ 橋梁架替（小作田地区_須賀川市）（国事業）



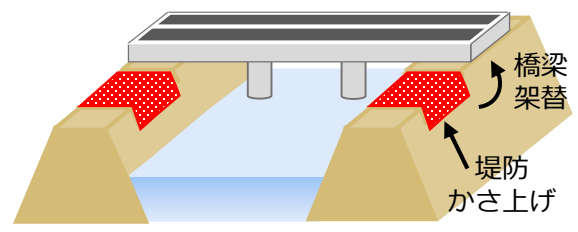
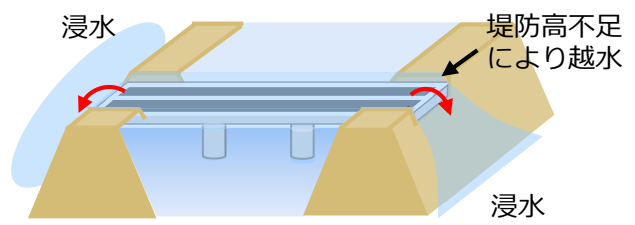
○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。



工事前（2020年10月）



工事中（2023年7月）

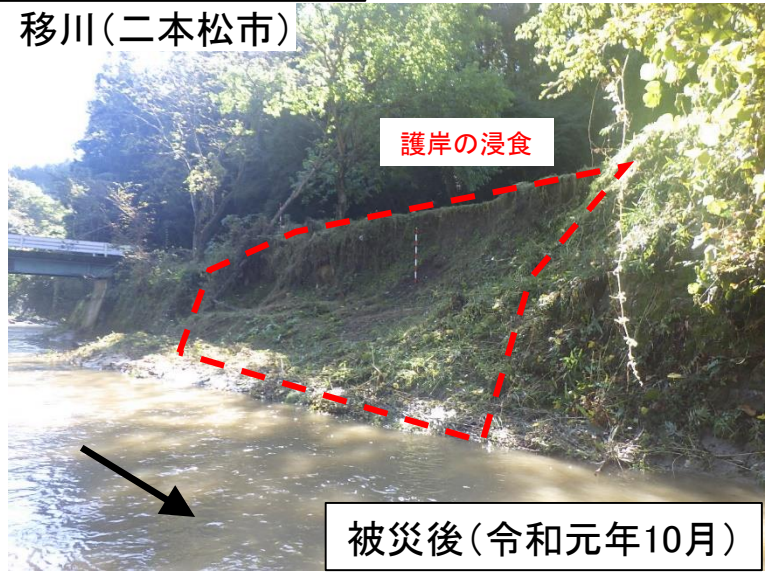


⑤ 令和元年東日本台風災害復旧事業の完了（県事業）

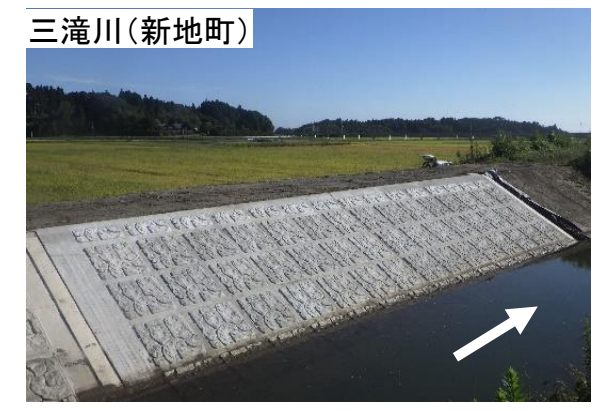


○令和5年5月末までに河川災1,411箇所 of 災害復旧工事が完了した。

被災後及び復旧後の状況



復旧状況



⑥ 令和元年東日本台風改良復旧事業の推進（県事業）

- 令和元年東日本台風による浸水被害を受けた河川において、流下能力を向上させ早期の浸水被害の軽減を図るため、堤防嵩上げ、河道掘削等を実施する。
- 早期完成に向け工事を進めている。

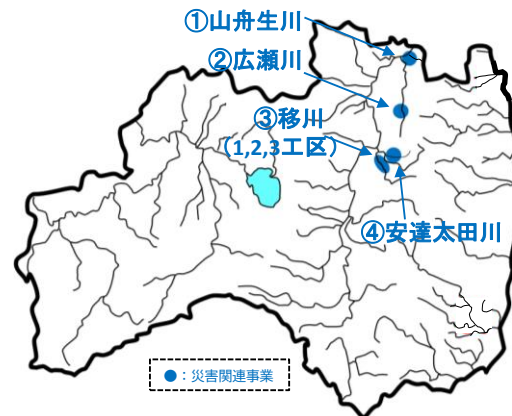
広瀬川(川俣町)



移川(二本松市)



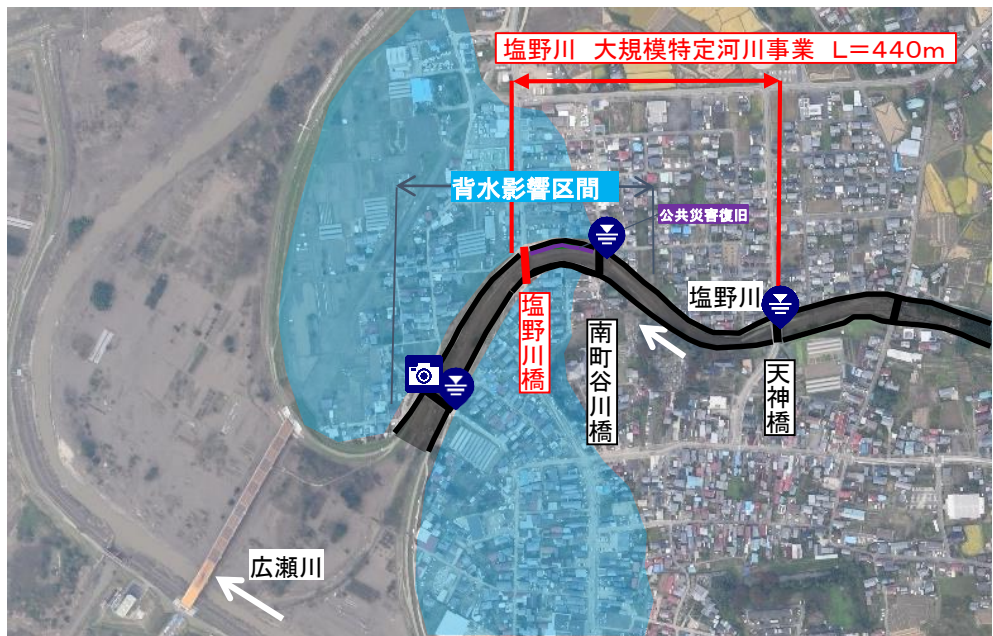
改良復旧事業河川位置図



⑦ 【伊達市】 塩野川 堤防嵩上げ・河道掘削（県事業）

○令和元年東日本台風による浸水被害を受け、流下能力を向上させ早期の浸水被害の解消・軽減を図るため、堤防嵩上げ、河道掘削等を実施する。

○令和4年度までに塩野川橋を除く区間の護岸工及び堤防嵩上げ工が完了し、現在は塩野川橋の橋梁工事を進めている。



- 【凡例】
- 完了
 - R1 東日本台風 浸水範囲
 - R5実施
 - R6以降
 - 📍 危機管理型水位計
 - 📷 簡易型河川監視カメラ



・パラペット護岸工事

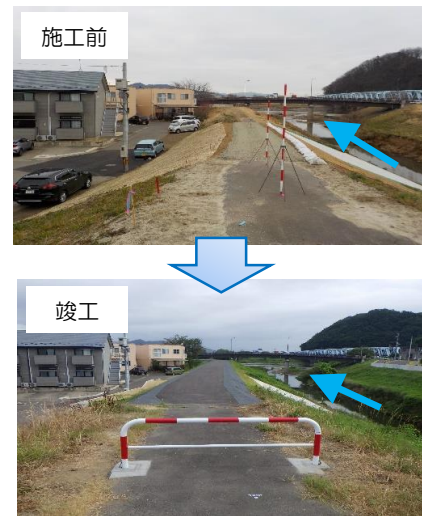


⑧ 【福島市】 濁川 堤防嵩上げ・河道掘削（県事業）

- 令和元年東日本台風による浸水被害を受け、流下能力を向上させ早期の浸水被害の解消・軽減を図るため、堤防嵩上げ、河道掘削等を実施する。令和2年度は先行して阿武隈川合流部付近の堤防強化工事を実施した。
- 濁川橋上流の堤防嵩上げ工事、橋梁工事に着手しており、令和5年9月までにL=140mの堤防嵩上げが完了している。



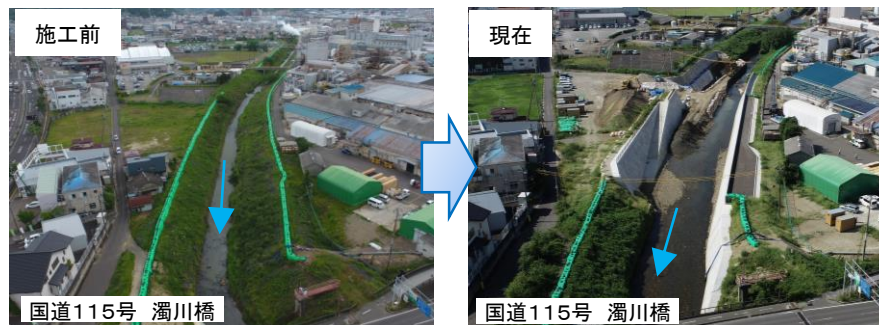
・堤防強化工事



・災害復旧工事



・堤防嵩上げ工事



⑨ 【郡山市】 谷田川 堤防強化・河道掘削（県事業）

○令和元年東日本台風による浸水被害を受け、流下能力を向上させ早期の浸水被害の解消・軽減を図るため、堤防強化、河道掘削等を実施する。
 ○令和3年度までに事業区間全体の河道掘削・伐木工が完了し、現在は護岸工を進めている。



・河道掘削・伐木



・堤防強化

施工前



竣工



・天端補強工

施工前



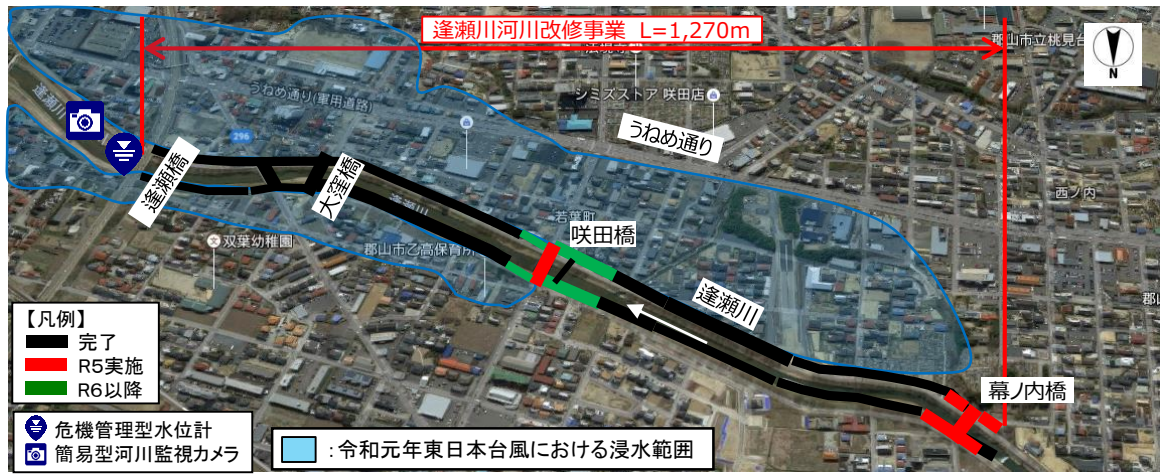
竣工



⑩ 【郡山市】 逢瀬川 堤防整備・河道掘削（県事業）



- 逢瀬川沿川の人家等への浸水被害の軽減を図るため、令和8年度完了を目標として事業を進めている。
- 令和5年9月までに、咲田橋及び幕ノ内橋の周辺を除く区間の築堤、河道掘削、護岸工が概ね完了している。



・咲田橋～幕ノ内橋



・大窪橋～咲田橋



11 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置（県事業）

○令和元年東日本台風等を踏まえ、人家や重要施設の浸水の危険性が高く、住民の的確な避難判断が必要な箇所を設置している。

○令和5年9月までに県内全域で危機管理型水位計を446箇所、簡易型河川監視カメラを245箇所設置し、国土交通省「川の防災情報」や、福島県「河川流域総合情報システム」で情報提供している。



4. 工事(業務)受注企業の総合力による治水対策の推進!

○令和元年東日本台風では、工事受注企業が迅速に現地状況の把握、排水作業や被災箇所への緊急復旧に努め、被害拡大を防止。
 ○本格復旧等にあたっては各分野で、その持てる力を最大限に発揮し、阿武隈川の災害対応を推進中。多くの方が災害復旧等に尽力。

令和元年からの3年間
 工事関係

業者数: **39**社
 工事件数: **115**件

測量・調査・設計関係

業者数: **62**社
 業務件数: **168**件

位置図



■ 破堤箇所の緊急復旧の状況

① 佐久間川(桑折町)



権限代行区間での緊急復旧作業の様子(R1.11.7完了)

② 阿武隈川(須賀川市)



24時間体制での緊急復旧作業の様子(R1.11.8完了)

■ 本格復旧等の状況

③ 阿武隈川(郡山市)



張り芝の様子

④ 阿武隈川(国見町)



天端舗装の様子

5. 掘削残土が造り出す産業基盤！（事例_工業の森・新白河）



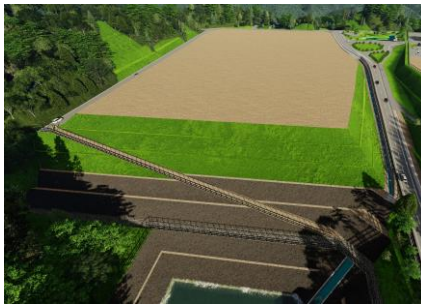
- 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに伴い発生する河川掘削土を、白河市の県営工業団地「工業の森・新白河」へ搬出。
- 令和4年2月から本格的に河川掘削土の搬出を開始し、これまでに約28万m³を搬入済み。
- 令和5年7月28日 企業の立地が決定！ 地域雇用の拡大が期待される。



掘削土搬入後（令和5年9月）



掘削土搬入前（令和3年11月）



造成イメージ（福島県より）

PRESS RELEASE

令和5年7月28日
福島県企業立地課

報道関係者各位

**「工業の森・新白河A-1工区」
工場立地に関する基本協定締結式の開催について**

現在、造成工事を進めている県営工業団地「工業の森・新白河A-1工区（白河市豊地地区）」につきまして、下記のとおり、福島県、地元自治体である白河市、半導体製造装置向けの石英ガラス加工製品等を製造する「株式会社 横浜石英」様、「ヒメジ理化 株式会社」様の4者による工場立地に関する基本協定締結式を行いますので、お知らせいたします。

記

1 「工業の森・新白河A-1工区」工場立地に関する基本協定締結式日時等

- (1) 日 時
令和5年8月4日（金）11時30分～12時00分
- (2) 会 場
福島県庁本庁舎2階応接室
- (3) 当日の次第
 - ① 出席者紹介・協定概要説明
 - ② 協定書署名（締結）
 - ③ 記念撮影
 - ④ あいさつ
 - ⑤ 共同記者会見

2 協定締結者

- (1) 福島県知事 内堀 雅雄
- (2) 白河市長 鈴木 和夫
- (3) 株式会社横浜石英 代表取締役社長 南 勝也（みなみ かつや）
- (4) ヒメジ理化株式会社 代表取締役社長 赤崎 充（あかさび みつる）

3 その他
別紙のとおり

【本件に関する問合せ先】
福島県企業立地課 副課長兼主任 日比亜州 TEL:024-521-8520（内線2886）
白河市商工業課 課長 真船 薫 TEL:0248-21-5910

6. (参考)阿武隈川水系流域治水プロジェクトの取り組み(阿武隈川上流)



- 昨今の気候変動による災害の激甚化・頻発化に対応するため、流域全体のあらゆる関係者(国・県・市町村・企業・住民等)により、流域全体で行う治水対策「流域治水」を推進する阿武隈川上流流域治水協議会を令和2年9月に設立し、「阿武隈川水系流域治水プロジェクト」を策定し、令和3年3月に公表した。
- 以後、プロジェクトについては、進捗の見える化等の更新を図るとともに、流域全体の関係者による総合的な防災・減災対策を実施。

流域治水プロジェクトに関する取り組みの経緯

【日 時】	【会議等】
令和2年9月15日・16日	第1回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和3年2月19日・22日	第2回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和3年3月30日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを策定 阿武隈川流域治水宣言の表明
令和3年6月20日	阿武隈川上流 流域治水シンポジウム
令和3年10月28日	第3回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和4年3月15日	第4回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和4年3月31日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを更新
令和5年3月2日	第5回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和5年3月31日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを更新

協議会メンバー

福島市長 郡山市長 白河市長 須賀川市長
 二本松市長 田村市長 伊達市長 本宮市長
 桑折町長 国見町長 川俣町長 大玉村長 鏡石町長
 天栄村長 西郷村長 泉崎村長 中島村長 矢吹町長
 石川町長 玉川村長 平田村長 浅川町長 三春町長
 棚倉町長
 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員仙台支社長
 阿武隈急行株式会社 代表取締役社長
 福島県土木部長 福島県危機管理部長
 福島県農林水産部長
 農林水産省東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所長
 林野庁関東森林管理局福島森林管理署長
 気象庁福島地方気象台長
 国立研究開発法人森林整備センター関東整備局長
 国土交通省東北地方整備局三春ダム管理所長
 国土交通省東北地方整備局摺上川ダム管理所長
 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所長

協議会の開催状況

【阿武隈川上流流域治水シンポジウム】



【第3回阿武隈川上流流域治水協議会】



【第4回阿武隈川上流流域治水協議会】



【第5回阿武隈川上流流域治水協議会】





6. (参考)阿武隈川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備(見込)</p>  <p>整備率:99% (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>21市町村 (令和4年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>21施設 (令和3年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>24箇所 (令和4年度実施分) 7施設 (令和4年度完成分) ※施工中 12施設</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>4市町村 (令和4年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>61河川 (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年3月末時点 2団体 (令和4年9月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の实效性の確保</p>  <p>749施設 66施設 (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年3月末時点 18市町村 (令和4年1月1日時点)</p>
---	---	--	---	---	--	--

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

令和元年東日本台風時の状況



① 尾袋川
② 左側地区
③ 指定避難所への移動が困難となったもの

洪水により市道が冠水。指定避難所への移動が困難となったもの。

【宮城県 角田市】

○市道 駅前花島線に越水対策工事(止水壁)を設置し、尾袋川からの越水対策を実施することで左側地区への越水流入を防ぎ、避難経路を確保する対策を実施しています。



止水壁工 尾袋川
市道 駅前花島線
100cm
避難経路の確保

【福島県 福島市】

○市内を流れる普通河川祓川において、上流部の土地利用変化や、流末にあたる雨水集が未整備区間のため、大雨による浸水被害が発生していたため、浸水多発地区に雨水一時貯留施設(貯留量 V=約500m3)を設置し、浸水対策を実施しています。

河川 浸水状況

2019年7月24日撮影



標準河川水位(中級) 標準水位(日最高)

雨水一時貯留施設の概要



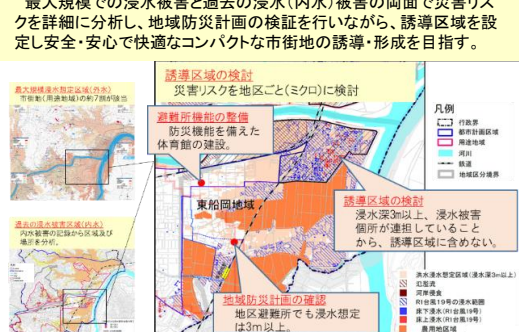
雨水一時貯留施設 施工状況
雨水一時貯留施設 竣工状況
施工箇所 福島市菅野町 地内貯留量 V=1950m3

被害対象を減少させるための対策

【宮城県 柴田町】

○令和4年5月に立地適正化計画を策定・公表
○防災に対する方針等をまとめた防災指針を策定し、災害リスクを踏まえた誘導区域を検討

最大規模での浸水被害と過去の浸水(内水)被害の両面で災害リスクを詳細に分析し、地域防災計画の検証を行いながら、誘導区域を設定し安全・安心で快適なコンパクトな市街地の誘導・形成を目指す。



誘導区域の検討
災害リスクを地区ごと(ミクロ)に検討

避難所機能の整備
防災機能を備えた体育館の建設。

誘導区域の検討
浸水深3m以上、浸水被害個所が連担していることから、誘導区域に含まない。

地域防災計画の検証
地区避難所でも浸水想定は3m以上。

凡例
○ 誘導区域
○ 避難所機能整備区域
○ 浸水被害個所
○ 浸水被害個所連担区域
○ 浸水被害個所連担区域
○ 浸水被害個所連担区域

【民間企業の取組】

○工場への浸水被害を防ぐために、出入口に止水壁を設置(郡山市)



○立地適正化計画における居住誘導区域内での防災指針の策定(白河市)



防災上の課題と防災対策の取組の方向性

浸水被害想定区域(浸水深3m以上)
浸水被害想定区域(浸水深1.5m以上)
浸水被害想定区域(浸水深0.5m以上)
浸水被害想定区域(浸水深0.1m以上)
浸水被害想定区域(浸水深0.05m以上)

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

【宮城県 柴田町】

○地域における講習会等によりマイ・タイムラインや避難確保計画作成の普及、防災リーダーの育成等を通じて、地域防災力の向上を図る



「3つのSTEP」でマイ・タイムライン作成

STEP1 現状把握
STEP2 危険箇所の特定
STEP3 マイ・タイムライン作成

気象予報士から学ぶマイ・タイムライン講習会(柴田町)

○災害時の一人ひとりの適切な避難行動を普段から考えてもらう取組み(マイ避難ノートの配布)



ふくしまマイ避難ノート

福島県

○平常時・洪水時の河川状況や河川水位の上昇等把握できるよう、YouTubeライブ配信を開始

福島河川国道事務所
Fukushima Office of River and National Highway

→ 防災 → 河川
→ 砂防 → 道路
→ 入札・契約情報

事例概要
→ 動画・一覧の選択
→ 所在地
→ 沿革

【配信機器・アプリ】
配信機器: 福島河川国道事務所
配信アプリ: YouTube



7. (参考)流域治水の推進 ～特定都市河川の指定～

- 国土交通省では、令和3年11月に全面施行された流域治水関連法の中核をなす特定都市河川浸水被害対策法に基づき、順次、特定都市河川の指定を全国の河川に拡大し、法的枠組みや新たな予算制度・税制を最大限活用した「流域治水」の取組を全国に展開することとしている。
- 令和元年度東日本台風をはじめとした台風や集中豪雨による洪水により、たびたび浸水被害が発生し、地元からも、治水事業・流域治水の取組の推進について要望がある釈迦堂川流域・逢瀬川流域・谷田川流域において、「流域治水」の取組をさらに加速することを目的に令和4年3月11日に釈迦堂川流域水害対策検討会、令和4年10月17日に逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会が設立された。
- 令和5年2月13日に開催された第2回釈迦堂川流域水害対策検討会、令和5年8月31日に開催された第3回逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会において、特定都市河川の指定に向けた法定手続きを進めていくことのできる了承が得られた。そのうえで、釈迦堂川は令和5年度中の指定を目標、逢瀬川・谷田川は令和5年度中の指定告示を目標とするスケジュールを共有した。

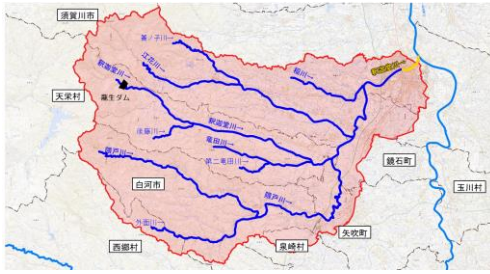
各流域水害対策検討会の経緯

【日時】	【会議等】
令和4年3月11日	第1回 釈迦堂川流域水害対策検討会 特定都市河川指定を視野に浸水被害軽減対策の検討
令和4年10月17日	第1回 逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会 特定都市河川指定を視野に浸水被害軽減対策の検討
令和5年2月13日	第2回 釈迦堂川流域水害対策検討会 特定都市河川指定に向けた法定手続きを進めていくことのできる了承を得る
令和5年3月24日	第2回 逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会 検討を進め浸水被害軽減対策の基本方針をとりまとめる
令和5年8月31日	第3回 逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会 特定都市河川指定に向けた法定手続きを進めていくことのできる了承を得る

特定都市河川流域におけるハード・ソフトの取組イメージ



【釈迦堂川指定流域 (予定)】



【第1回 釈迦堂川流域水害対策検討会】



【逢瀬川・谷田川指定流域 (予定)】



【第3回 逢瀬川・谷田川流域水害対策検討会】



7. (参考)阿武隈川流域における各取組について

○ワンコイン浸水センサ実証実験開始

国土交通省では浸水の危険性がある地域に浸水センサを設置し、リアルタイムに状況を把握する実証実験を官民連携で行っている。

伊達市は、本実証実験に参加、民間企業と連携し、令和5年9月に伊達市内10箇所に浸水センサを設置した。今後、令和5年度中に直轄設置分を含め14箇所の浸水センサを設置する予定。



◀▲浸水常襲箇所に浸水センサ設置



ワンコイン浸水センサ

小型、低コストかつ長寿命で、流域内に多数の設置が可能な浸水センサ

- 小型
- 低コスト
- 長寿命

実証実験に用いている6種類の浸水センサ

リアルタイムの浸水状況表示システム

各センサの情報を一元的に収集し、浸水状況を共有するシステム

※浸水センサ表示システムのイメージです。現在はワンコイン浸水センサ実証実験参加者限定で共有しています。

○流域内連携の促進



◀▼上流自治体の物産展を開催



【福島駅前 軽トラ市】
福島駅前通り (令和5年9月)



◀▼上流自治体の物産展を開催



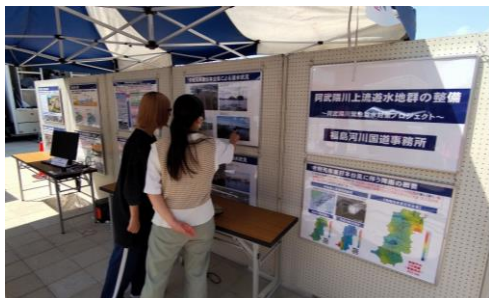
【荒川フェスティバル】
福島市 荒川桜づつみ河川公園(令和5年5月)

7. (参考)阿武隈川流域における各取組について



○流域治水の広報、防災教育等

【パネル展】



福島県総合防災訓練
▼ (令和5年8月)

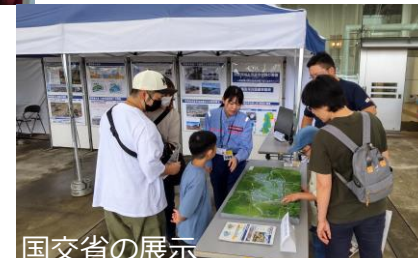


▼▲そなえるふくしま (令和5年9月)

▲ふくしま災害体験フェア
(令和5年7月)



▲ふくしま道の駅・空の駅まつり
(令和5年9月)



【出前講座】



▼福島市 (令和5年6月)



鏡石町内小学校
▼ (令和5年9月)

▲伊達市 (令和5年6月)



▲郡山市内小学校
(令和5年8月)



～ふりかえる水害の記憶と治水対策～

令和元年東日本台風から **4年** 巡回パネル展

【開催趣旨】

- 阿武隈川流域に甚大な被害をもたらした『令和元年東日本台風』から4年。記録的な豪雨による当時の被害やこれまでの治水対策等を振り返り、この歴史的な大災害を忘れることなく、近年多発する水害への備えを改めて考えるきっかけとするため、『巡回パネル展』を実施します。
- 本パネル展は、阿武隈川上流流域治水協議会として、流域内関係機関共同により実施し、『流域治水の取組』や3町村（鏡石町、矢吹町、玉川村）の協力を得て進めている『阿武隈川上流遊水地群の整備』などについても紹介しています。

【主催】

阿武隈川上流流域治水協議会

【開催時期及び会場】

(本日) 2023年10月12日(木) ~11月30日(木) **全26会場**で開催

7. (参考)巡回パネル展の実施について



展 示 会 場		開催期間※	展 示 会 場		開催期間※
桑折町	桑折町役場 1階 町民ロビー	10月12日(木) ～10月27日(金)	鏡石町	鏡石まちの駅 かんかてらす	10月28日(土) ～11月13日(月)
摺上川ダム	摺上川ダム インフォメーションセンター	10月12日(木) ～10月27日(金)	平田村	平田村保健生涯学習施設 ハレスコ 交流ホール	10月28日(土) ～11月13日(月)
福島県	福島県庁西庁舎 2階 ホール	10月12日(木) ～10月19日(木)	福島市	福島市役所 9階 市民ロビー	10月30日(月) ～11月13日(月)
須賀川市	須賀川市役所 1階 みんなのスクエア	10月12日(木) ～10月18日(水)	川俣町	川俣町役場 1階	10月30日(月) ～11月13日(月)
鏡石町	イオンスーパーセンター鏡石店	10月12日(木) ～10月27日(金)	伊達市	伊達市役所 梁川総合支所 1階	11月14日(火) ～11月30日(木)
玉川村	たまかわ文化体育館	10月12日(木) ～10月29日(日)	本宮市	本宮市 中央公民館 1階 展示ホール	11月14日(火) ～11月30日(木)
福島地方 気象台	福島第二地方合同庁舎 1階エントランスホール及び6階エレベータホール	10月16日(火) ～10月27日(金)	鏡石町	鏡石町健康福祉センター ほがらかん	11月14日(火) ～11月30日(木)
郡山市	郡山市役所本庁舎 2階 アートスペース	10月17日(水) ～10月27日(金)	矢吹町	矢吹町複合施設 KOKOTTO 1階 ラウンジ	11月14日(火) ～11月30日(木)
伊達市	伊達市役所本庁舎 1階 シルクホール	10月28日(土) ～11月13日(月)	白河市	白河市立図書館～りぶらん～	11月14日(火) ～11月30日(木)
国見町	道の駅国見あつかしの郷 道路情報休憩コーナー	10月28日(土) ～11月13日(月)	郡山市	郡山市役所本庁舎 1階 市民ギャラリー	11月16日(木) ～11月30日(木)
JR東日本	JR福島駅 東西連絡通路	10月28日(土) ～11月13日(月)	三春町	三春町役場 1階 多目的スペース	11月16日(木) ～11月24日(金)
三春ダム	三春ダム資料館 1階 展示ギャラリー	10月28日(土) ～11月13日(月)	二本松市	二本松市役所 1階 市民ホール	11月20日(月) ～11月30日(木)
郡山市	JR郡山駅 東西自由通路	10月28日(土) ～11月13日(月)	須賀川市	須賀川市民交流センター tette 1階	11月22日(水) ～11月28日(火)

※会場によっては、記載した開催期間内に閉館日等がある場合がありますので、個別にご確認ください。
※開催期間の最終日は午前中まで展示しています。(午後に撤去作業)

主催：阿武隈川上流流域治水協議会

福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島町、矢吹町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、三春町、棚倉町、東日本旅客鉄道株式会社、阿武隈急行株式会社、福島県、阿武隈土地改良調査管理事務所、福島森林管理署、福島地方気象台、森林整備センター、三春ダム管理所、摺上川ダム管理所、福島河川国道事務所